

メールマガジン埼玉県議会



発行：埼玉県議会



No.277 2019.6.28

県議会テレビ番組「こんにちは県議会です」
6月23日(日曜日)放送「議長インタビュー」

県議会広報テレビ番組「こんにちは県議会です」(テレビ埼玉)では、各定例会の様や各委員会委員長のインタビューなど県議会に関するさまざまな情報を放送しています。

今号のメールマガジンでは、ご覧になれなかった方のために、23日(日曜日)に放送した「議長インタビュー」の内容をお伝えします。

また、あさって30日(日曜日)朝10時から「副議長・議会運営委員長インタビュー」が放送されますので、ぜひご覧ください。



[☆放送スケジュールなど詳しくは、県議会のホームページをご覧ください。>>](#)

INDEX



県議会広報

こんにちは県議会です「議長インタビュー」

- ・ 神尾高善議長



議事堂の花

生け花のご紹介



県議会広報

【こんにちは県議会です「議長インタビュー」】

〈神尾高善 議長〉

昭和25年生まれの69歳
埼玉県議会自由民主党議員団所属
北第4区 深谷市・美里町・寄居町選出

平成19年、県議会議員初当選(現在4期目)
企画財政委員長、決算特別委員長、議会運営委員長などの要職を歴
任
今年5月、埼玉県議会議長に就任

☆議長あいさつは、県議会ホームページからご覧になれます。≫

議長 県民の皆さま、こんにちは。このた
び、埼玉県議会第122代議長を拝命いたしま
した神尾高善でございます。よろしく願い
いたします。



〈議長としての抱負〉

—議長に就任されての抱負をお聞かせください。—

議長 今年、令和という新たな時代が始まった、まさに節目の年でありま
す。超高齢化や人口減少が進み、社会構造が大きく変化する中、経済の
停滞や社会保障の負担増など、社会経済全般にわたる懸念が現実問題と
して現れてきております。こうした問題の解決のため、県議会の果たす役
割や責務は極めて重要だと考えております。微力ではございますが、決意
を新たに、県民誰もが健康で希望あふれる暮らしを営むことができる社会
を実現するため、全力を尽くしてまいります。

〈議長職について〉

—先月の臨時会では、早速議長として議事を進行されていらっしやいま
したが、どのような感想をお持ちでしょうか。—

議長 改めてその責任の重さを痛感しております。県内それぞれの地域の
代表として県民の皆さまに選出されました93名の議員で構成される県議会
の代表者として、役割と責任をしっかりと果たしていきたいと思っています。

〈政治家を志したきっかけ〉

—政治家を志したきっかけをお聞かせください。—

議長 旧岡部町の町長をしておりました私の
父の勇退後、地元の皆さまから地域のため
に父の思いを引き継いでほしいというお話を
頂きました。非常に悩んだのですが、地域を
良くしたい、そのために力を尽くしたいと思
い、政治家になることを決意いたしました。
私は、県民の皆さまを笑顔にするのが政治
家の役目だと思っています。そのためには暮らしの安心・安全が必要不可
欠であります。皆さまの願いをしっかりと結実させて、まずは安心・安全な
生活を確保し、活力ある未来を実現していくことが、われわれ議員の果た
すべき使命であると考えています。



〈政治家としての原点〉

—議長は旧岡部町の町議会議員や町長を歴任され、現在県議会議員とし
ても4期目ですが、政治家としての原点というと、どういったことが挙げられ
ますか。—

議長 私たち議員は、県民の皆さまの負託に応えるため、その声を県政に

反映させるべく積極的な政策立案を行っております。その際、県民の皆さまの暮らしに照らして、その政策が本当に県民のためになるのかどうかを総合的に判断する必要があると思います。政策を実現する行政運営のトップである町長を務めた経験から、さまざまな視点からの意見を大切にして物事を判断してきたことが、私にとって決して揺るがない軸になっています。

—住民に身近な行政運営に取り組み始めた経験を生かされているんですね。—

議長 個人的な経験で言えば、私は若い頃に交通事故で足に大けがを負って、足かけ2年入院したことがあるんですが、そのとき身体が不自由でも使える洋式トイレの大切さを実感しました。そこで、町長になってすぐに、すべての小中学校に洋式トイレを設置したんです。けがをしても学校で不自由なくトイレに行けるといった安心感を子どもたちに与えることができたと思っています。

—経験したことをすぐに施策に生かされたんですね。—

議長 誰もが安心して暮らせる社会をつくるためには、大きなことはもちろん、小さなことにも目を向ける必要があります。そこに目が向くのは、多くは女性なんです。町長時代、20代から70代の男女で構成する政策提言会議というものをつくりまして、意見や提案を挙げてもらうということをしたんです。そこで、自分の目では見えなかったことが意見として出てきたんですね。こうした意見を取り入れながら、皆さんの願いを一つ一つ確実に形にしていきました。



—議長は早くから女性の視点を取り入れてこられたんですね。—

議長 社会が抱えるさまざまな問題を解決するためには、女性や若者、高齢者など、幅広い視点を取り入れることが重要だと考えています。県議会議員になった今でも、地元にいるときは毎日地域を回りながら、さまざまな人々の視点や意見を伺う活動を欠かすことができません。

社会的に弱い立場にある人たちにも手を差し伸べて一緒に生きていきたいと思いますというのが政治の基本だと思います。

—幅広い意見を取り入れて形にしていけることが、先ほどのお話にありました「県民の笑顔」につながっていくんですね。—

議長 そうですね。さまざまな方の意見や要望をお伺いして、県民一人ひとりのために何をすべきか、どうしたら実現できるかを考え、判断し、実行していくことをこれからも続けていきたいと思っています。

《ラグビーワールドカップ2019、東京オリンピックについて》

—いよいよ今年の9月にラグビーワールドカップが開催されますね。—

議長 熊谷ラグビー場も会場の一つとなっています。改修工事を終え、世界最高峰の舞台にふさわしい臨場感あふれるスタジアムに生まれ変わった熊谷ラグビー場で、ぜひ多くの皆さんにその熱気を体験していただきたいですね。

—熊谷ラグビー場では、ロシア対サモアなど3試合が予定されています

ね。—

議長 残念ながらワールドカップでは熊谷での日本戦はありませんが、開幕前の9月6日に日本対南アフリカの壮行試合が行われることになりました。南アフリカといえば、4年前のワールドカップで日本が大金星を挙げた世界屈指の強豪国であります。この歴史的な一戦が、ワールドカップの最高の幕開けを告げる試合になると期待しています。

—楽しみですよ。来年には東京オリンピック・パラリンピックの開催も控えていますね。—

議長 本県でも4カ所が会場となっています。世界中が注目する二つの大きな国際大会の開催は、埼玉の魅力を世界にPRする絶好のチャンスです。スポーツを通じたレガシーの創出に「オール埼玉」で取り組み、埼玉から日本を元気にしていきたいと思っています。

《趣味について》

—ここからは、神尾議長のプライベートなども伺ってまいります。趣味と言うと、どのようなことが挙げられますか。—

議長 昔はバレーボールをやっていたまして、全国の青年団の大会に埼玉県の代表として出場したこともあります。その後は体育指導員としても活動しました。けがをして続けられなくなってしまったんですが、バレーボールに限らずスポーツは得意、好きでしたね。

—スポーツ万能でいらっやっったんですね。今も身体を動かされることはありますか。—

議長 今はグラウンドゴルフをやっています。子どもから高齢者まで、誰でも気楽に、そして楽しくプレーすることができて、健康づくりにも効果があるのが特徴です。生涯スポーツというのは、腕や技術を競うことだけが目的ではありません。多くの人と親睦を図り、人生を豊かにするところに本当の価値があると思っています。



—生きがいつくりにもつながりますね。—

議長 そうですね。私も自分でグラウンドゴルフの会をつくって、地域の方に参加していただいているんですが、こうしたスポーツを通じて、地域コミュニティを醸成していくというのも私たちの使命なんじゃないかなと思っています。

—他には何かありますか。—

議長 テレビで「笑点」を見ることですね。昔、父に「頓知(とんち)が利かないと駄目だ」と言われたことがありました。要するに頭の回転が速い人であるべきだということですが、「笑点」を見ると新しい視点に気づくことができますし、想像力も鍛えられるので、大好きですね。

《座右の銘》

—心掛けていること、あるいは座右の銘はありますか。—

議長 「良樹細根、大樹深根」という言葉です。目に見える部分に気をとられてしまいがちですが、成果を挙げるためには日々の積み重ねが大切だと思っています。このことを常に念頭に置いて、これからも努力を重ねていきたいと思っています。

《今後の抱負》

—今後の議会運営に当たっての抱負をお聞かせください。—

議長 県民誰もが安心して生活できる社会を実現するために、今、何をすべきか。私たちは、先の選挙を通じて、多くの県民の皆さまの声に耳を傾けてまいりました。この声をしっかりと受け止め、県民の皆さまの負託に応えていくために、議員が活発に議論し、積極的に政策提案を行っていくことが重要だと考えております。



二元代表制の一翼を担う県議会がその役割と責務を果たすことができるよう、公正かつ円滑な議会運営に、新井副議長と共に全力で取り組んでまいります。

県民の皆さまには、今後とも県議会に対する一層のご支援とご協力を賜りますよう、お願いいたします。

[▲トップへ](#)

❁ 議事堂の花

このコーナーでは、議事堂ホールに飾られた生け花をご紹介します。

【協力 埼玉県いけばな連合会】



展示期間:

6月17日

～6月21日

作者:

創美流

高橋樵園様

花材:ナンテン

ン、ケムリソ

ウ、グラジオラ

ス、ガーベラ、

スターチス、ア

ワ、トルコキ

キョウ

◇◆生け花の作者の方にお聞きしました！◆◇



〈創美流 高橋樵園様〉

Q: 全体を包み込むケムリソウが特徴的な作品ですね。

A: ケムリソウに柔らかくかわいらしい雰囲気を感じていただけるでしょう。作品の雰囲気をつくり出すだけでなく、そのボリュームは生け花に重要な立体感を表現するのにも一役買っています。奥が透けて見えるケムリソウならではのポイントで、正面から見ても背後のトルコキキョウが顔をのぞかせていて作品の奥行きが引き立っています。

Q: グラジオラスやガーベラ、トルコキキョウとピンク色で統一感のある色の取り合わせですね。

A: 特に前面のガーベラはひとときわ作品を明るい印象にしてくれます。色の統一感も一つのテーマですが、黄色のスターチスが入ることで、ナンテンの深い緑色と鮮やかなピンク色がうまく調和しています。

[☆現在展示中の作品や過去の展示作品は、県議会ホームページでご覧になれます。》](#)

[▲トップへ](#)

【注意】

●メールマガジンにおいて氏名の一部にJIS規格第1・第2水準にない文字がある場合、第1・第2水準の漢字で表記しています。

【お問い合わせ】

●[「メールマガジン埼玉県議会」の登録・解除はこちらから》](#)

※登録事項(メールアドレスなど)を変更する場合には、お手数ですが、変更前のメールアドレスを一度解除してから新規に登録してください。

●「メールマガジン埼玉県議会」についてのお問い合わせ・感想はこちらまで！

E-mail a6250-03@pref.saitama.lg.jp

埼玉県議会議事務局政策調査課

〒330-9301 さいたま市浦和区高砂3-15-1 電話 048-830-6257 / FAX 048-830-4923

